

国に対し、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と
住民への説明会実施を、JR 東海に指導することを求める意見書

2024年10月22日に、JR 東海が行うリニア中央新幹線のトンネル掘進ルート上の民家(東京都町田市小野路)の庭において、突然、湧水と気泡が発生した。JR 東海が、掘進工事を一旦中断した後に、湧水と気泡の発生は止まったが、住民の方は、リニア中央新幹線の工事と同じシールド工法で行われた外環道工事によって、調布市での陥没事故を想起し、同じように自宅の庭が陥没するのではないかと、心配で夜も眠れなかったということだった。

当時、JR 東海のホームページでは、シールドマシンの位置が古い情報のままであり正確な情報を住民が得られなかった。また、発生した気泡自体の採取、検査が行われていないこと、11月13日に「周辺の地下の空洞調査の結果、空洞は確認されませんでした」と公表されているが、その調査は地下 1.5メートルの深さという詳細は周知されていないなど、住民不安に答える対応は不十分である。

地域住民は不安を抱えた状態で2ヶ月近く経過しており、本事象の早期の原因究明が求められる。また、地域住民への丁寧な説明、説明会の実施など、地域の納得が得られなければ、工事再開が許されないことは言うまでもない。

よって、町田市議会は、国に対して、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR 東海に指導することを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。